

宗内寺院紹介 97

埼玉教区第六部

華林山 最上院

慈恩寺



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①本堂 ②玄奘三蔵天竺求法像 ③玄奘塔 ④夜の玄奘塔
⑤開山堂 ⑥玄奘祭

坂東三十三観音霊場の第十二番札所である慈恩寺は、慈覚大師により天長年間に開かれた寺であり、寺名は大師が入唐求法の折、遊学された中国長安にある大慈恩寺にちなんだものとされる。数次の厄災に堂宇・什寶のほとんどが烏有に帰してしまつたが、盛時には十三万五千坪の境内と、塔中六十六ヶ坊を有する大寺であつた。現在の本堂は天保十四年に建立され、本尊の千手観音菩薩は寛永年間に天海大僧正によつて比叡山より招来されたものである。境内には玄奘三蔵法師の御霊骨を奉安する玄奘塔がある。この御霊骨は、昭和十七年、日本軍の高森部隊により南京郊外に於いて発見されたものの一部である。当山開創の由来である長安の大慈恩寺は、唐の太宗により法師のために建てられた寺であり、その法縁によりこの地に昭和二十五年に奉安された。

埼玉教区第六部

華林山 最上院 慈恩寺

住 所／〒339-0009 埼玉県さいたま市岩槻区大字
慈恩寺139番地

電話番号／048-794-1354